

特集:信州から冬の贈り物をあなたに

画像提供:妻籠観光協会 →

「あつたまつて
いかなね」。

そんな声が聞こえてくるようになった信州。
でも…。寒い信州には、
その寒さを吹き飛ばして、
心も体もあつたかくなる
名産品・特産品がたくさんあるんです。

「今日は本当に
凍みるね」。

おいしい冬
をどうぞ。

冬に味わってもらいたい、
おいしい信州をお届け!



信州の上質な
プレゼント。

大切なあの人へのクリスマス
プレゼント・お歳暮にいかが。



ご紹介する商品はすべて 「銀座NAGANO」で 購入できます。

東京銀座に10月オープンした「銀座NAGANO～
しあわせ信州シェアスペース～」。その1階には信州の
特産品が購入できる「ショップコーナー」があります。
1,000種類以上の商品の中から、あなたが求める信州の
逸品をお選びください。



銀座 NAGANO

しあわせ信州シェアスペース

住 所: 〒104-0061

東京都中央区銀座5-6-5 NOCO1・2・4F

T E L: 03-6274-6015 (代表)

定 休 日: 年末年始

営業時間: 10時から20時(1階・2階)

➡ 「銀座NAGANO」は東京メトロ「銀座駅」より徒歩1分! 詳しい情報はこちらをクリック



身体の芯から温まる

あったか〜い

信州のモノ。

特集
信州から冬の贈り物をあなたに

信州お米たべくらべセット 佐久市 木島平村 安曇野市

1,080円

&

信州黄金シャモカレー 飯田市

飯田市

702円

安曇野、木島平、浅科といずれも信州屈指の米どころの味を食べ比べ！炊きたての新米の上に、肉汁たっぷりの地鶏「信州黄金シャモ」をじっくり煮込んだカレーはいかが。



乾燥野生種えのき

579円 須坂市

乾燥させて、えのきのおいしさをギュッと凝縮。お鍋に入ると、隠し味にも。えのきの食感や風味がお楽しみいただけます。



サバタケ 山ノ内町

1,000円

&

八幡屋磯五郎 銀座NAGANO缶

400円 長野市

北信州の春の味覚「根曲がり竹」とサバ缶の味噌汁が冬でも食べられます♪八幡屋磯五郎の七味を振って、ほっと一息。



※金額はすべて税込です。



水尾 特別本醸造

(720ml)

飯山市

1,134円

お燗にすると信州産の酒米「ひとごち」の香りがふわっと広がります。寒い夜はやっぱり信州の日本酒！



献上寒晒しそば

1,080円 茅野市

江戸時代の製法を再現し、復活した将軍家への献上そば。極寒期の清流に浸し、寒風に晒されたそばは、モチモチとした食感が魅力。冬はあったかいおそばにしてもおいしいですよ！

開発者の思い

「献上寒晒しそば」(茅野市)

農商工、産学官連携によって復活した「幻のそば」

諏訪地域には寒天や凍み豆腐など、冬の極寒の環境を生かした食材があります。江戸時代、将軍家の献上品として作られていた「献上寒晒しそば」もその一つでした。しかし、明治時代にその製法が途切れてしまった。それを、農商工連携所を中心に、生産者、そば店、製粉・製麺会社、行政、大学が協力して復活させたんです。

「献上寒晒しそば」は、そばの実を冬の冷たい川や風で晒すのが特徴。このことにより、そばはモチモチとした食感になり、うま味が凝縮されます。ストレスに効果があると言われるアミノ酸のひとつ「GABA（ギャバ）」が、通常のそばよりも2.7倍も含まれるなんていうデータもあるんですよ。

1月大寒の頃から仕込み作業は始まります。毎年7月には茅野市内のそば店で「献上寒晒しそば祭」が開催されているので、こちらにもぜひ足を運んでください。

茅野商工会議所
やまもと あつし
山本 敦さん



特集

信州から冬の贈り物をあなたに

上質な 信州のモノ。

華密恋 薬用入浴剤 (400ml)

池田町

..... 2,376円

カミツレはハーブの女王ともいわれる
ジャーマンカモミールの和名。にきび、冷
え症、疲労回復などに効果があります。
そのカミツレエキス100%の入浴剤は、
保温・保湿効果も抜群で身体の芯まで温
めてくれます！



マルシェ

回折型スピーカー

明日香 南木曾町 130,788円

南木曾町の伝統工芸であるろくろ細工の技術を
生かした木製スピーカー。木目を生かしたデザイ
ンで、和室でも洋室でもお部屋にマッチします。



マルシェ

赤ルバーブジャム

..... 3個セット 3,240円 富士見町

ルバーブは、チベット原産の多年生植物。
眼精疲労などに良いといわれるアントシ
アニンをたっぷり含んだヘルシーな食材
です。赤色が鮮やかなジャムを贈り物にい
かが。



たてしなツプル シードル 立科町 (750ml)

..... 2,592円

クリスマスパーティーや忘年会など
飲み会が多い季節。信州・立科町の完熟
りんごでつくった本格シードルで乾杯！
芳醇な香りと、キリッとしたさわやかな
のど越しに魅了されます♪



マルシェ

しなののかたち カードギフト

..... 4,536円・6,696円・9,936円

※カタログの種類によって金額が変わります。

信州の生産者が、手間暇かけて作った
心のこもった商品を集めたカタログギフト。
「あの人に信州を届けたい」、そんなあ
なたの気持ちが伝わる商品です。



マルシェ の印がある商品は信州・長野県観光協会の通販サイト「NAGANOマルシェ」で購入できます。

※「NAGANOマルシェ」の表示価格はすべて「送料込・消費税込」の金額です。



※金額はすべて税込です。

開発者の思い

「回折型スピーカー 明日香」(南木曾町)

カネキン小椋製盆所
おぐらひろき
小椋 浩喜さん

奥行きある音を可能にした伝統の技術

伝統工芸品がどんどん下火になっている今、ろくろ細工の技術で新しいものをとということ
で開発したのが、この「回折型スピーカー 明日香」です。

四角いスピーカーが主流の中、あえて円筒型にすることで、音を回り込ませて音の奥行き
を出せるのが大きな特徴。両脇のスピーカーの真ん中に立てば、歌手が目の前に、演奏がその
後ろで響いているかのような臨場感が味わえます。

そして、この円筒の形を作り上げるのに、ろくろ細
工の技術が生かされているんです。

スピーカーは、聴く人へ最後に音を届ける道具。作
り手が届けたかった音楽をこのスピーカーで表現で
きるように、これからも改良していきたいですね。



「銀座NAGANO」は東京メトロ「銀座駅」より徒歩1分！詳しい情報はこちらをクリック



「ヒト」*「モノ」 #1 「ココロ」

南木曾町 伝統の防寒着 「なぎそねこ」

よしむら さなえ
吉村 早苗さん

歴史と自然に恵まれた木曾谷。連載企画では、この地域の魅力的なヒト、モノをご紹介します。第1回は、南木曾町に伝わる伝統の防寒着「なぎそねこ」。製作組合の吉村早苗会長にお話を伺いました。

「なぎそねこ」ってどんなねこ？

この辺りは、300年から400年くらい前から、伝統工芸品のろくろ細工や檜笠をつくるのが盛んだったの。それを囲炉裏の前で作業していたのね。だから身体の前の部分は暖かいのだけれど、どうしても背中が寒い。もともと「ねこ」は、背中を温めるための作業着として生まれたもの。袖がないのも、作業がしやすいようにつくられているからなの。

「ねこ」の名前の由来は、これを着て作業をしている格好が猫のようだとか、「ねんねこ半纏」の「ねこ」とかいろいろ。そして、いつ頃からこの地域で作られていたのかも、書物が残っているわけではないので、分からないのよね。



このタグが本物の「なぎそねこ」の証！

贈り物としても重宝

「なぎそねこ」をお土産用として本格的に道の駅などに卸すようになったのは、たぶん私が初めて。それまではどこの家でも知り合いから頼まれればつくってあげるという程度だったの。「省エネグッズ」としてメディアで紹介されたりして徐々に売れ始めて…。数年前テレビ番組で取り上げられたときは、発送まで3カ月かかるほど注文が殺到したの！そのときは、昼に「ねこ」をつ

これが「なぎそねこ」。座っても身体に密着するよう丈の長さが計算されている。



くって、深夜まで発送作業と大変だった。でも、お礼の手紙をいただいたり、「腰が温まってありがたい。」と言ってもらったりすると、つくっていて本当に良かったなと思えるね。

今は、お土産やお返しとして買っていく人も多いみたい。贈り物としてよく買われるお菓子は「なぎそねこ」と同じくらいの値段。お菓子は形に残らないけれど、これならずっと手元に置いておける。そういうプレゼントもいいもの shouldn't it?

南木曾がもっと有名になってほしい

「なぎそねこ」の名前で商標登録したときに、あえて「なぎそ」と入れたのは、南木曾町がもっと有名になってほしかったから。

今の時代に合わせて、インターネットでの販売もしているけれど、本当は「なぎそねこ」を買いに南木曾の町に来てほしいの。ここは妻籠宿や桃介橋といった観光地もある、伝統工芸品もある、あまり知られていないけれど魅力がいっぱいあるところ。

「なぎそねこ」も今では色柄が100種類以上。実際目で見て、自分の好みのものを選んでもらえたらうれしいね。



吉村さんの下で、「なぎそねこ」製作に関わっている方は現在20人ほど。地元の女性の働き口としての役割も。作業はもちろん「なぎそねこ」を着て行っている。

[「なぎそねこ」についてもっと知りたい、販売店を知りたい方はこちらをクリック→](#)

うたで巡る #4 「お猿のかごや」 信州の原風景

曲の誕生から70年以上経過してもなお歌い継がれている童謡「お猿のかごや」。作曲が海沼實、作詞が山上武夫という、長野市松代出身のコンビによる作品です。歌詞の中に「小田原提灯」と出てきたり、今年からJR「小田原駅」の発車メロディにも使われていることから、箱根山中の曲として仕上げられています。実は、作詞者の山上武夫が、松代の山道で出会った猿を思い浮かべて、書き上げた作品だといわれています。

参考文献：お猿のかごや・作詞家 山上武夫の生涯（郷土出版社）



信州・地獄谷のお猿さんのように、松代の猿もユーモアや人間味にあふれていたのでしょうか。

[今、地獄谷のお猿は何してる？「地獄谷ライブカメラ」→](#)